

## 教育普及に関わる活動報告 Report on Education Programs

今年度は、年度末工事による全館休館の時期を除き、常設展を活用して充実したプログラムを実施することができた。

「スクール・ギャラリートーク」は、実施期間が例年より短かったにもかかわらず、参加者数は昨年度を少し上回る結果となった。定番となった「ファン・デー」「美術館でクリスマス」はリピーターが増え、今年度も好評のうちに終了した。これらふたつの企画で実施した立ち寄り制プログラムには、日本人はもとより外国人の参加者が散見された。観光客の多い上野では、予約制プログラムだけでなく、短時間で自由に参加できるプログラムも重要である。

「どうぶじゅつ」はいつものように盛況で、リピーターはもちろんのこと初めて参加する親子も多く見られた。参加者からは「専門的な知識がなくても子どもと共に美術館を楽しめることがわかった」といった感想が寄せられた。また、当館も共催館として支援している東京都美術館の教育プログラム「Museum Start あいうえの」より、ミュージアム・スタート・バック<sup>註</sup>の提供を受けたので、「どうぶじゅつ」参加者に無料配布した。

「グエルチーノ」展の講演会は、聴講者が定員を上回る回もあり、日本ではあまり知られていない画家やその作品の普及に貢献した。

註) 各館での体験や思い出を記録する手帳とそれを入れる肩掛けバッグがセットになったもの。上野公園にある美術館や博物館など9つの施設の利用を促すことを目的としたグッズ。

### 1) 常設展関連プログラム

当館の所蔵作品および常設展示に関連して実施されるプログラム。

#### ■美術トーク

所蔵作品5～7点を鑑賞していく、ボランティア・スタッフによる一般向けギャラリートーク。開館している第1・3・5土曜日と日曜日に実施。  
参加者：計1,083名(60回)

#### ■建築ツアー

ル・コルビュジエ設計の本館や前庭を巡る、ボランティア・スタッフによる一般向け建築ツアー。開館している第2・4土曜日に実施(当日予約制)。

参加者：計213名(11回) \*団体向けツアーは除く

#### ■平日大人向けトーク \*団体向け建築ツアーはこちらに加算

参加者：計300名(14回)

#### ■美術館でクリスマス

「ギャラリートーク」

常設展の見どころや、おもしろい作品についてボランティア・スタッフが行なうトーク。

12月12日(土)/13日(日) ①12:00-12:10 ②13:00-13:10

③14:00-14:10

参加者：計155名

「クリスマスキャロル・コンサート」

クリスマスにちなんだ歌を特集したアカペラのコンサート。

12月12日(土)/13日(日) ①11:00-11:40 ②15:00-15:40

企画：平松英子(東京藝術大学准教授)

演奏：金持亜実(ソプラノ)、平山莉奈(アルト)、田口昌範(テノール)、関口直仁(バス)

参加者：計405名

「作って飾ろうクリスマス ツリー、リース、天使があるよ!」(立ち寄り制ワークショップ)

ボランティア・スタッフが企画したオーナメント作りワークショップ

日時：12月12日(土)/13日(日) 10:30-15:30

参加者：計452名

#### ■ファン・デー 2015

さまざまなプログラムと共に国立西洋美術館を無料開放し、コレクションに親しんでもらう週末プログラム。

日時：2015年6月13日(土)/14日(日) 9:30-17:30

「ギャラリートーク『常設展、この1点』」(各回約10分)

6月13日(土)

10:00 《「聖ステパノ伝」を表わした祭壇画プレデッラ》

11:00 《聖アントニウスの誘惑》

12:00 《樞の森の道》

13:00 《奉納祭壇画》

14:00 《ヘラクレスとオンファレ》

15:00 《睡蓮》

6月14日(日)

10:00 《ソドムを去るロトとその家族》

11:00 《舟遊び》

12:00 《羊の剪毛》

13:00 《三連祭壇画：キリスト磔刑》

14:00 《アルジェリア風のパリの女たち》

15:00 《絵画》

参加者：計572名

「たのしいセイビぬりえ」

9:30-16:30(配布は16:00まで)

参加者：計5,040名

「びじゅつーる ロダン人形編」

9:30-17:00(貸出受付は15:30まで)

利用者：計696名

「セイビ・パズル」

9:30-17:00

参加者：計492名

「本館建築ツアー」(各回約50分、定員先着20名)

①11:00 ②15:00

参加者：計81名

「本館立体パズル」

9:30-17:00

参加者：計450名

「ボルドー展パンフレットもらえます!」

9:30-17:30

配布数：1,285部

「前庭コンサート」(各回約30分)

①10:30 ②14:30

参加者：計580名

入館者数合計(2日間)：5,590名

## ■ファン・ウィズ・コレクション2015

サマープログラムとして常設展を活用した2種類のプログラムを実施した。

「びじゅつーる：みて！つかって！たのしんで！」

6種類の鑑賞用教材びじゅつーるの貸出。

8月7日(金)/8日(土)/9日(日) 13:00-17:00

参加者：577名

「きってはってロダンでうちわ！」

ボランティア・スタッフが企画したうちわ作りの立ち寄りワークショップ。

8月1日(土)/2日(日)/15日(土)/16日(日) ①11:00-13:00

②14:00-16:00

参加者：638名

## 2) 特別展開連プログラム

年3回開催される特別展に関連して実施される、講演会、シンポジウム、スライドトーク、ギャラリートーク、コンサートなど。

### ■講演会

[グエルチーノ展]

4月11日(土) 14:00-15:30

「グエルチーノとバロック美術」

宮下規久朗(神戸大学教授)

参加者：170名

5月16日(土) 14:00-15:30

「グエルチーノの生涯と芸術」

渡辺晋輔(本展監修者・国立西洋美術館主任研究員)

参加者：155名

5月30日(土) 14:00-15:30

「紙からカンヴァスへグエルチーノの創作プロセスを追う」

デイヴィッド・M. ストーン(デラウェア大学教授)

参加者：96名

助成：(公財)鹿島美術財団

\*同時通訳つき(英語)

[ボルドー展]

6月23日(火) 14:00-15:30

「『月の都ボルドー』の3つの三日月：モンテーニュ、モンテスキュー、モーリヤックのボルドー」

ニコラ・バルベ(ボルドー市立図書館文化遺産課長)

参加者：54名

\*同時通訳つき(フランス語)

7月18日(土) 14:00-15:30

「ボルドーと画家たち」

陳岡めぐみ(国立西洋美術館主任研究員)

参加者：71名

8月22日(土) 14:00-15:30

「都市ボルドー 18世紀を活気づけた人びとは、何をめざしていたのか？」

土居義岳(九州大学大学院教授)

参加者：62名

9月5日(土) 14:00-15:30

「角を持つヴィーナス(ローセルのヴィーナス)に刻まれた世界：作者クロマニョンの見たヨーロッパ」

赤澤 威(国際日本文化研究センター名誉教授)

参加者：64名

[黄金伝説展]

10月24日(土) 14:00-15:30

「古代トラキアの黄金遺宝」

金原保夫(東海大学教授)

参加者：54名

11月14日(土) 14:00-15:30

「エトルリア・古代ローマの金製品—黄金をめぐる人々の世界」

藤沢桜子(群馬県立女子大学教授)

参加者：44名

11月21日(土) 14:00-15:30

「ギリシャ文学・神話における黄金というモチーフ」

逸身喜一郎(東京大学名誉教授)

参加者：44名

12月19日(土) 14:00-15:30

「古代ギリシャ美術と黄金」

飯塚 隆(国立西洋美術館研究員)

参加者：90名

[カラヴァッジョ展]

3月1日(火) 14:00-15:30

「カラヴァッジョと彼の影響」

ロッセッラ・ヴォドレ(本展監修者・美術史家・前ローマ国立美術館群特別監督局長官)

参加者：155名

\*同時通訳つき(イタリア語)

3月12日(土) 14:00-15:30

「カラヴァッジョの真実—カラヴァッジョとはどんな男だったのか」

石鍋真澄(成城大学文芸学部教授)

参加者：155名

[ミュージアムのジレンマ 収集、展示、マスメディア]

10月28日(水) 14:00-16:30

「ミュージアム、モニュメント、そして混乱—アメリカの文化展示とメモリアル」

エドモンド・ウォーレン・ベリー・Jr(ベリー演劇図書館館長、元スミソニアン協会ナショナル・ポートレート・ギャラリー研究員)

「寄贈のジレンマ、化石、銃器—取捨のつかない収集について」

シャノン・ケネディ・ベリー(テネシー大学附属マクラング自然史博物館、コレクション・マネージャー)

参加者：52名

主催：国立西洋美術館

後援：全日本博物館学会、文化資源学会

助成：アメリカ大使館

\*同時通訳つき(英語)

### ■シンポジウム

「北欧の近代美術とジャポニスム」

10月31日(土) 10:00-18:00

基調講演「ジャポニスムの発信地パリと受信地北欧」

馬淵明子(国立西洋美術館 館長)

研究発表1「美術コレクター ヘルマン・フリチョフ・アンテルーパリから日本へ」

スサナ・ベッテルソン(フィンランド国立アテネウム美術館館長)

研究発表2「草の葉から聖なる大自然まで—北欧美術における自然観の変化」

アンナ=マリア・フォン・ボンズドルフ(フィンランド国立アテネウム美術館 主任学芸員)

研究発表3「自然をデザインする—北欧美術におけるジャポニスム 1885-1914」

ヴィーベケ・ヴォラン・ハンセン(オスロ国立建築デザイン美術館 学芸員)

研究発表4「ヘレン・シャルフバックとジャポニスム」

佐藤直樹 (東京藝術大学美術学部芸術学科 准教授)

研究発表5「ジャポニスムとノルウェーの新しいナショナル・アイデンティティ」

ヴィーダール・ハレーン (オスロ国立建築デザイン美術館 館長)

研究発表6「19世紀末デンマークにおける日本美術受容—カール・マスン著 Japansk Malerkunst (『日本の絵画芸術』)を中心に」  
萬屋健司 (山口県立美術館 専門学芸員)

研究発表7「自然への新たなアプローチ—デンマークの視覚芸術におけるジャポニスム 1880-1910」

ピーダ・ナアアゴーニラスン (コペンハーゲン国立美術館 主任学芸員)

研究発表8「スウェーデン、北欧のジャポニスムと芸術家村グラー—カール・ラーションからムンクまで」

荒屋鋪 透 (ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館 学芸部長)

全体討議

司会： 宮崎克己

参加者：121名

主催： 国立西洋美術館

後援： ジャポニスム学会/美術史学会

助成： スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団/公益財団法人ポーラ美術振興財団/公益財団法人吉野石膏美術振興財団/公益財団法人野村財団

協力： ノルウェー王国大使館/フィンランド大使館/フィンランドセンター/デンマーク大使館/S2株式会社

\*同時通訳つき(英語)

#### ■スライドトーク・ギャラリートーク

[グエルチーノ展]

スライドトーク：中江花菜 (東京藝術大学大学院)

4月10日(金)/24日(金)、5月15日(金) 各日18:00-18:30

参加者：計214名

[ボルドー展]

スライドトーク：鈴木一生 (成城大学)

7月3日(金)/17日(金)、8月7日(金)/21日(金)、9月11日(金)

各日18:00-18:30

参加者：計274名

[黄金伝説展]

スライドトーク：飯塚 隆 (国立西洋美術館研究員)

10月23日(金)、11月13日(金)、12月4日(金)/18日(金)

各日18:00-18:30

参加者：計217名

[カラヴァッジョ展]

スライドトーク：中江花菜 (東京藝術大学大学院)

3月18日(金) 18:00-18:30

参加者：79名

#### ■障がい者のためのプログラム

展覧会の作品について、15分程度の概要説明のレクチャーを講堂で行なった後、参加者が自由鑑賞するプログラム。

「ボルドー展特別鑑賞会」

7月11日(土) 18:00-20:00

共同実施：三菱商事株式会社 (三菱社員ボランティア26名)

参加者： 66名

#### 3) ファミリープログラム

6-9歳の子どもと同伴の大人を対象にしたファミリープログラムは、常設展示室で利用する家族向けの鑑賞用教材「びじゅつーる」の無料貸出と、コレクションの鑑賞と創作などの体験がセットになった「どようびじゅつ」があり、いずれも教育普及室とボランティア・スタッフ

によって運営、実施されている。

#### ■びじゅつーる

美術館は初めて、あるいは美術のことはよく知らない、という家族を対象に作られた鑑賞用補助教材で、常設展の絵や彫刻を、いろいろな視点から楽しむための道具やゲームなどがセットになっている。2015年度は、ファン・デーとサマープログラムで貸出を行なった(ファン・デー、ファン・ウィズ・コレクション参照)。

#### ■どようびじゅつ

常設展示室の作品鑑賞とそれに関連する創作や体験がセットになった予約制プログラム。

「セイビ・パレット」

3点の絵画作品の色に注目して鑑賞した。その後ワークショップ室に移動し、エコバックに円、三角、正方形のいずれかの型を置いてその中に好きな色の絵具を載せて色の重なりを楽しんだ。

4月11日(土)/25日(土)、5月9日(土)/23日(土)

各日①10:00-12:00 ②14:00-16:00

参加者：計112名

「イロイロ\*ミロ」

3点の絵画作品を鑑賞し、作品を見て親子でお話作りなどを行なった。その後ワークショップ室で片面に接着剤がついたボードに、フェルトや羊毛、ボタンなどを貼り付けて自由に工作をした。

9月12日(土)/26日(土)、10月10日(土)/24日(土)、

11月14日(土)/28日(土) 各日①10:00-12:00 ②14:00-16:00

参加者：計174名

#### 4) 学校関連プログラム

##### ■スクール・ギャラリートーク

当館の常設展示作品について、ボランティア・スタッフが中心となって実施している予約制のプログラム。

参加者：計2,966名(80件)

未就学児童=118名(2件)、小学生=1,765名(38件)、

中学生=794名(25件)、高校生以上=289名(15件)

##### ■オリエンテーション

大人数の団体を対象に、講堂で行なう常設展あるいは特別展についての予約制の解説。教育普及室が実施。

参加者：計1,228名(18件)

幼稚園=0名(0件)、小学生=347名(3件)、中学生=389名(3件)、

高校生以上=492名(12件)

##### ■職場訪問

おもに、中学生による美術館の仕事に関する訪問インタビュー。教育普及室で対応。

参加者：計43名(9件)

中学生=34名(7件)、高校生=9名(2件)

##### ■国立美術館アートカード・セット

独立行政法人国立美術館所蔵作品を使用した鑑賞用教材アートカードの貸し出し。

11件(81セット)

小学校=9件(68セット)、中学校=1件(10セット)、

高校=1件(3セット)

##### ■先生のための鑑賞プログラム

特別展ごとに小・中学校、高校の教員を対象に、指定時間中の無料観覧を行なうと同時に、展覧会の趣旨やおもな作品について展覧会担当者が講堂で約40分間のレクチャーを行なう。

[グエルチーノ展]

4月3日(土) 展覧会観覧16:00-20:00 レクチャー 18:00-18:40

講師： 渡辺晋輔 (国立西洋美術館主任研究員)

参加者：31名(うちレクチャー参加者20名)

#### [ボルドー展]

7月10日(金) 展覧会観覧9:30-17:00 レクチャー 11:00-11:40  
講師: 陳岡めぐみ(国立西洋美術館主任研究員)  
参加者: 36名(うちレクチャー参加20名)

#### [黄金伝説展]

11月14日(金) 展覧会観覧9:30-17:00 レクチャー 11:00-11:40  
講師: 飯塚 隆(国立西洋美術館研究員)  
参加者: 34名(うちレクチャー参加20名)

#### [カラヴァッジョ展]

3月25日(金) 展覧会観覧16:00-20:00 レクチャー 18:00-18:40  
講師: 川瀬佑介(国立西洋美術館研究員)  
参加者: 72名(うちレクチャー参加50名)

#### ■教員研修

学校と美術館の連携を推進することを目的として、小学校および中学校の教員による研究会と複数の美術館が共同して企画・実施する鑑賞教育のための研修。

東京都図画工作研究会・東京国立近代美術館・東京都現代美術館・国立西洋美術館合同教員研修会

東京国立近代美術館・葛飾区立西小菅小学校

2016年1月22日(金) 13:35-15:15 西小菅小学校 鑑賞授業(公開)

2016年1月28日(木) 13:35-14:40 東京国立近代美術館工芸館 鑑賞活動(公開)

東京都中学校美術教育研究会・東京国立近代美術館・東京都現代美術館・国立西洋美術館合同教員研修会

7月27日(月) 9:00-17:00 東京国立近代美術館 鑑賞研修

#### 5) ボランティア

ボランティア・スタッフは、3つのグループに分かれて当館のさまざまなプログラムをサポートし、さらにボランティア・スタッフ自身が企画するプログラムも実施している。また、ボランティアは、当館での活動に必要な知識や技術を習得するための研修にも参加している。

#### ■活動内容

A グループ: スクール・ギャラリートーク、ファミリープログラム

B グループ: 美術トーク

C グループ: 建築ツアー

全グループ: 「ファン・デー」「美術館でクリスマス」「ボランティア・スタッフ自主企画」

#### ■研修と会合

①4月12日(日) ワークショップ: 「グッゲンハイム美術館のギャラリートーク」一條彰子・今井陽子(東京国立近代美術館主任研究員)、寺島洋子(国立西洋美術館主任研究員)

②8月28日(金) 所蔵作品解説: 袴田紘代(国立西洋美術館研究員)

③2月8日(月) 担当A 自主研修: 人体デッサン体験

④3月5日(土) 担当C 自主研修: 建築見学会

⑤3月26日(土) 新規収蔵作品解説: 村上博哉(国立西洋美術館副館長)

#### 6) インターンシップ

当館では、西洋美術に関心をもつ人材の育成と、当館の活動をより広く理解してもらうことを目的として、大学院生以上を対象としたインターンシップを実施している。当館職員の指導のもと、研修生は所蔵作品の調査、展覧会や教育プログラムの企画補助など、それぞれが希望する専門分野に分かれてさまざまな業務に実際に携わる。

#### [教育普及室]

インターン: 山本真弓、川口裕加子、大城菜里恵、梶西由紀子、野村佳助、佐藤芳哉

期間: 5月13日-10月31日

指導: 寺島洋子

内容: 教育普及プログラムの企画・実施の補助、および資料整理

#### [絵画・彫刻・版画素描室]

インターン: 益子実華

期間: 5月11日-9月30日

指導: 川瀬佑介

内容: 当館で実施予定の展覧会の準備、カタログ編集業務などの補佐

インターン: 福岡 仁

期間: 5月13日-10月31日

指導: 陳岡めぐみ

内容: 所蔵作品の調査研究および絵画・彫刻室の関連業務の補佐

#### [情報資料室]

インターン: 久松美奈

期間: 5月7日-8月31日

指導: 川口雅子

内容: 研究資料センターにおける資料収集・整理および利用者サービスの補佐

#### 7) 他組織との連携

##### ■上野高校「奉仕」課外授業への協力

「サマープログラム」補助

8月7日(金)/8日(土)/9日(日)

参加者: 生徒6名、教員1名

「美術館でクリスマス」補助

12月12日(土)/13日(日)

参加者: 生徒4名、教員1名

##### ■東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻の教育・研究における連携・協力

期間: 2015年4月1日-2016年3月31日

内容: 文化資源学研究専攻の一層の充実と、当該研究科の学生の資質向上を図り、相互の教育・研究の交流を促進した。

#### 8) 出版物

##### ■展覧会カタログ(\*展覧会の欄参照)

##### ■展覧会作品リスト

展覧会の概要と出品作品リストを含む無料配布の作品リスト

[ボルドー展] A3変形(巻三つ折り)

[黄金伝説展] A3変形(巻三つ折り)

[カラヴァッジョ展] B4(二つ折り)

##### ■ジュニア・パスポート

展覧会の入場券を兼ねた小・中学生を対象とした展覧会ガイド

[ボルドー展] A4変形(観音折り)

[黄金伝説展] A3(四つ折り)

[カラヴァッジョ展] A3(四つ折り)

##### ■ゼフェロス

当館の展覧会や教育プログラムなどの活動を広報する季刊(年4回)のニュースレター。

Nos.63-66 A5(8頁・中綴じ)

(寺島洋子・横山佐紀・杉浦央子)

## スタッフ・リスト

[教育普及室]

寺島洋子、横山佐紀、前園茂宏、杉浦央子、平松英子・イシカワカズ  
(客員研究員)

[ボランティア・スタッフ]

赤塚敬子、新井智子、安藤まりえ、石川佐知子、磯田暉子、稲森珠実、井上直子、大堀隆嗣、岡田史穂子、岡田正宇、小川滋、小竿真紀、榎原たまき、里広江、澤野曠一、塩田伸一、白田詠子、鈴木由紀、鈴木伊知子、高野涼子、田上恵子、谷口武教、寺嶋直子、長井靖子、中尾小絵、中山裕子、中野恵子、中村宏美、西田通子、橋本典子、畑中たまき、浜田明美、檜谷錦子、平賀恵美、福良恵子、文屋信男、別所恵代、前田直哉、三好美智子、森保裕恵、山本三津江、横島ミサコ、和田昭子

During this fiscal year, the Education Department conducted programs related to the Permanent Collection galleries, with the exception of the end-of-year construction period.

Though School Gallery Talks were conducted over a shorter time period than in previous years, participant numbers were slightly greater than last year. Fun Day and Christmas at the Museum, two of our annual programs, included an increased number of repeat attendees, and garnered favorable acclaim. These two drop-in programs attracted primarily Japanese audiences with a few non-Japanese also participating. In addition to reservation-only programs, short drop-in programs are also important in Ueno Park with its large numbers of tourists.

Our Doyo Bijutsu (Saturday Arts) sessions were as lively as usual, with many repeat attendees and also new families joining the fun. Participants expressed their appreciation, such as, “I now understand that even without any specialized knowledge, I can enjoy an art museum with my children.” The NMWA also supports the Tokyo Metropolitan Art Museum’s Museum Start A-I-U-E-O education program. We distributed the Museum Start Packs\* received from the TMAM to Doyo Bijutsu participants free of charge.

We increased the audience size and number of lectures presented on the Guercino exhibition. These lectures contributed to the dissemination of the painter and his works that are little known in Japan.

\* These Packs consisted of a notebook to record thoughts and ideas about their experiences at the museums in the program presented in a small bag. These packs were made to encourage use of the nine different museums located in Ueno Park.

## 1) Programs Related to the Permanent Collection

### ■ Art Talks

Art Talks are designed to help adult visitors enjoy our permanent collection. The volunteer staff conduct Art Talks every Sunday plus the first, third and fifth Saturday when the museum is open, and focus on five to seven artworks on display.

Total participants: 1,083 (60 talks)

### ■ Architectural Tours

This program is designed to help adult visitors enjoy the Museum buildings. The volunteer staff conducts Architectural Tours on the second and the fourth Saturday when the museum is open, and focus on the Main Building and Forecourt Garden, which were designed by the French architect Le Corbusier.

Total participants: 213 (11 tours)

### ■ Weekday Gallery Talks for Adults

Total Participants: 300 (14 tours)

## ■ Christmas Programs

“Gallery Talks”

Members of the volunteer staff presented talks on one work in the Permanent Collection Galleries. (\*In Japanese)

Saturday 12 and Sunday 13 December, ① 12:00–12:10 ② 13:00–13:10  
③ 14:00–14:10

Total participants: 155

“Christmas Carols”

From carols sung in churches during the Christmas season to popular songs, these à cappella concerts featured a range of festive songs.

Saturday 12 and Sunday 13 December, ① 11:00–11:40 ② 15:00–15:40

Organizer: Eiko Hiramatsu (Associate Professor, Tokyo University of the Arts)

Musicians: Ami Kanaji (soprano), Rina Hirayama (alto), Taiki Miyashita (tenor), and Naohito Sekiguchi (baritone)

Total participants: 405

“Make and Decorate Christmas! Trees, Wreathes and Angels!”

This drop-in Christmas ornament-making program was planned and run by volunteer staff members.

Saturday 12 and Sunday 13 December, 10:30–15:30

Total participants: 452

## ■ Fun Day 2015

The NMWA Fun Days are days when the NMWA is open to visitors free-of-charge with programs to allow visitors to familiarize themselves with our collection.

Saturday 13 and Sunday 14 June 2015

9:30–17:30 each day (entrance closes at 17:00)

“Gallery Talk—One Work from the Collection” (Approximately 10 minutes)  
13 June

10:00 *Predella Panel Representing the Legend of St. Stephen*

11:00 *The Temptation of St. Anthony*

12:00 *A Road Through an Oak Wood*

13:00 *Votive Altarpiece: The Trinity, the Virgin, St. John and Donors*

14:00 *Hercules and Omphale*

15:00 *Water Lilies*

14 June

10:00 *The Flight of Lot and His Family (after Rubens)*

11:00 *On the Boat*

12:00 *The Sheepshearing*

13:00 *Triptych: The Crucifixion Flanked by the Kneeling Donor and His Wife*

14:00 *Parisiennes in Algerian Costume or Harem*

15:00 *Painting*

Total participants: 572

“Fun NMWA Coloring Books”

9:30–16:30 (distributing ends at 16:00)

Total participants: 5,040

“Bijutool Rodin Set”

9:30–17:00 (lending ends at 15:30)

Total participants: 696

“NMWA Puzzle”

9:30–17:00

Total participants: 492

“Architectural Tour of the Main Building”

(Approximately 50 minutes, limit of 20 participants per talk)

① Starts at 11:00 ② Starts at 15:00

Total participants: 81

“Main Building 3-D Puzzle”

9:30–17:00

Total participants: 450

“Let’s get Bordeaux Exhibition Pamphlets!”

9:30–17:30

Number distributed: 1,285

“Concert in the Forecourt” (Approximately 30 minutes)

① Starts at 10:30 ② Starts at 14:30

Total participants: 580

Total number of visitors (two days): 5,590

#### ■ Fun with Collection 2015

Two types of programs were held as summer programs featuring the Permanent Collection Galleries.

“Bijutool: Look! Use! Enjoy!”

A set of six different types of Bijutool viewing materials were loaned to visitors.

Friday 7, Saturday 8, Sunday 9, August, 13:00–17:00

Total participants: 577

“Cut! Paste! A Rodin Fan!”

Organized by NMWA volunteer staff

Saturday 1, Sunday 2, Saturday 15, Sunday 16, August, ① 11:00–13:00

② 14:00–16:00

Total participants: 638

## 2) Programs Related to Special Exhibitions

#### ■ Lectures

[Guercino]

Saturday 11 April 2015, 14:00–15:30

“Guercino and Baroque Art”

Kikuro Miyashita (Professor, Kobe University)

Total participants: 170

Saturday 16 May 2015, 14:00–15:30

“Guercino’s Life and Arts”

Shinsuke Watanabe (Curator of the Guercino exhibition, National Museum of Western Art)

Total participants: 155

Saturday 30 May 2015, 14:00–15:30 \*with simultaneous interpretation

“From Paper to Canvas: Observations on Guercino’s Creative Process” (with funding from the Kajima Foundation for the Arts)

David M. Stone (Professor, University of Delaware)

Total participants: 96

[Bordeaux]

Tuesday 23 June 2015, 14:00–15:30

\*Lecture presented in French, simultaneous interpretation into Japanese

“Three Crescent Moons over the ‘Port de la Lune Bordeaux’: The Bordeaux of Montaigne, Montesquieu, and Mauriac”

Nicolas Barbey (Director, Cultural Heritage Department, Bibliothèque municipale de Bordeaux)

Total participants: 54

Saturday 18 July 2015, 14:00–15:30

“Bordeaux and Painters”

Megumi Jingaoka (Curator, National Museum of Western Art)

Total participants: 71

Saturday 22 August 2015, 14:00–15:30

“Bordeaux: Reading the Strategic History of a City through its Architecture”

Yoshitaka Doi (Professor, Graduate School of Kyushu University)

Total participants: 62

Saturday 5 September 2015, 14:00–15:30

“The World Carved in the ‘Venus of Laussel’: Europe as Seen by its Cro-Magnon Maker”

Takeshi Akazawa (Professor Emeritus, International Research Center for Japanese Studies)

Total participants: 64

[The Golden Legend]

Saturday 24 October 2015, 14:00–15:30

“The Golden Culture of Ancient Thrace”

Yasuo Kinbara (Professor, Tokai University)

Total participants: 54

Saturday 14 November 2015, 14:00–15:30

“Golden Products of Etruria and Ancient Rome”

Sakurako Fujisawa (Professor, Gunma Prefectural Women’s University)

Total participants: 44

Saturday 21 November 2015, 14:00–15:30

“Gold as a Motif in Greek Literature and Mythology”

Kiichiro Itsumi (Professor Emeritus, University of Tokyo)

Total participants: 44

Saturday 19 December 2015, 14:00–15:30

“Ancient Greek Art and Gold”

Takashi Iizuka (Associate Curator, National Museum of Western Art)

Total participants: 90

[Caravaggio]

Tuesday 1 March 2016, 14:00–15:30

\*Lecture presented in Italian, simultaneous interpretation into Japanese.

“Caravaggio and His Influence”

Rossella Vodret (Caravaggio exhibition director, art historian, former Special Superintendent for the Historical, Artistic, and Ethno-Anthropological Heritage in Rome and for the Museum Network of Rome)

Total participants: 155

Saturday 12 March 2016, 14:00–15:30

“The Truth about Caravaggio: What Kind of Man Was He?”

Masumi Ishinabe (Professor, Faculty of Arts and Literature, Seijo University)

Total participants: 155

[Special Lectures: The Dilemmas Faced by American Museums: The Roles of Collection, Exhibition, and Mass Media]

Wednesday 28 October 2015, 14:00–16:30

\*Presentations in English with simultaneous interpretation into Japanese.

“Museums, Monuments, and Messes: Case Studies in American Cultural Exhibitions and Memorials”

Edmund Warren Perry, Jr., (Director of the Perry Library of Theatre, writer, researcher at the National Portrait Gallery, Washington, DC)

“Donation Dilemmas, Fossils and Firearms: Focusing the Unfocused Museum Collection”

Shannon Kennedy Perry (Collections Manager, McClung Museum of Natural History and Culture, University of Tennessee, Knoxville, TN)

Organized by: The National Museum of Western Art, Tokyo

With support from: the Museological Society of Japan, the Association for the Study of Cultural Resources

With funding from: Embassy of the United States of America, Tokyo

Total participants: 52

#### ■ Symposia

International Symposium “Modern Art and Japonisme in the North”

Saturday 31 October 2015, 10:00–18:00

Keynote Lecture: “Paris, a Transmitter of Japonisme, and the North as its Receiver”

Akiko Mabuchi (Director General, National Museum of Western Art)

Paper 1: “Art Collector Herman Frithiof Antell: Home in Paris, Abroad in Japan”

Susanna Pettersson (Director, Ateneum Art Museum, Helsinki, Finland)

Paper 2: “From the Blade of Grass to Sacred Wilderness: Changing the Concept of Nature in Nordic Art”

Anna-Maria von Bonsdorff (Chief Curator, Exhibitions, Ateneum Art Museum, Helsinki, Finland)

Paper 3: “Designing Nature: Japonisme in Nordic Art 1885–1914”  
Vibeke Waallann Hansen (Curator, Exhibition and Collections, National Museum of Art, Architecture and Design, Oslo, Norway)

Paper 4: “Helene Schjerfbeck and Japonisme”  
Naoki Sato (Associate Professor, Tokyo University of the Arts)

Paper 5: “Japonisme and a New National Identity in Norway”  
Widar Halén (Director, National Museum of Art, Architecture and Design, Oslo, Norway)

Paper 6: “Reception of Japanese Art in Denmark in the late 19th Century, Based on ‘Japansk Malerkunst’ (Art of Japanese Painting) by Karl Madsen”  
Kenji Yorozyua (Yamaguchi Prefectural Art Museum)

Paper 7: “New Approaches to Nature: Japonisme in Danish Visual Art 1880–1910”  
Peter Nørgaard Larsen (Chief Curator, Collections and Research, Statens Museum for Kunst, Copenhagen, Denmark)

Paper 8: “Sweden, the Nordic Japonisme and the Artists’ Community, Grez-Sur-Loing: From Carl Larsson to Edvard Munch”  
Toru Arayashiki (Chief Curator, Pola Museum of Art, Pola Art Foundation)

Panel Discussion:

Moderator: Katsumi Miyazaki

Organized by: The National Museum of Western Art

Supported by: Society for the Study of Japonisme / The Japan Art History Society

With funding from: Scandinavia-Japan Sasakawa Foundation / Pola Art Foundation / Yoshino Gypsum Art Foundation / Nomura Foundation

With the co-operation of: Royal Norwegian Embassy in Tokyo / Embassy of Finland, Tokyo / The Finnish Institute in Japan / Embassy of Denmark, Japan / S2 Corporation

Participants: 121

With simultaneous interpretation into Japanese.

#### ■ Slide Talks & Gallery Talks

Slide Talks

[Guercino]

Friday 10 April, Friday 24 April, Friday 15 May 2015, 18:00–18:30 each day

Kana Nakae (Graduate School, Tokyo University of the Arts)

Participants: 214

[Bordeaux]

Friday 3 July, Friday 17 July, Friday 7 August, Friday 21 August, Friday 11 September 2015, 18:00–18:30 each day

Issei Suzuki (Seijo University)

Participants: 274

[The Golden Legend]

Friday 23 October, Friday 13 November, Friday 4 December, Friday 18 December 2015, 18:00–18:30 each day

Takashi Iizuka (Associate Curator, National Museum of Western Art)

Participants: 217

[Caravaggio]

Slide Talks

Friday 18 March 2016, 18:00–18:30

Kana Nakae (Caravaggio exhibition curatorial assistant, Graduate School, Tokyo University of the Arts)

Participants: 79

#### ■ Program for the Disabled

Special viewing session held for special exhibitions. After a 15-minute general explanation of the works in the exhibition, visitors were allowed to freely enjoy the exhibition.

[Bordeaux]

Saturday 11 July 2015, 18:00–20:00

With support from: Mitsubishi Corporations, Inc. (with 26 Mitsubishi volunteers)

Participants: 66

### 3) Family Programs

The Family Program is a free program aimed at children ages 6–9 and accompanying adults. Two different programs, “Bijutool” and “Doyo Bijutsu” (Saturday Art Workshop), were conducted by members of the Education Department staff and volunteer staff.

#### ■ Bijutool

Bijutool is a portable educational kit for families, first-time visitors, and those unfamiliar with art to help them enjoy paintings and sculptures at the museum. Each Bijutool contains different tools, games, and activities for different artworks. It encourages children and adults to enjoy artworks together.

\*We loaned Bijutool kits to visitors during this year’s Fun Day and Fun with Collection programs. (see section on Fun Day and Fun with Collection)

#### ■ Doyo Bijutsu (Saturday Art Workshop)

This program consists of art appreciation in the Permanent Collection Galleries and creative or experimental activities in the workshop room.

“NMWA Palette”

Participants examined the colors used in three paintings on display. Then in the workshop room, they had fun using a sponge and circle/triangle/square cut-out shapes to stencil designs onto a reusable shopping bag.

Saturday 11 and Saturday 25 April, Saturday 9 and Saturday 23 May 2015

① 10:00–12:00 ② 14:00–16:00 each day

Total participants: 112

“All Sorts of Miro”

After viewing three different paintings, family groups made up stories about the works. Then in the workshop room participants stuck felt, wool, buttons and other items onto an adhesive board to make their own patterns and pictures.

Saturday 12 and Saturday 26 September, Saturday 10 and Saturday 24 October, Saturday 14 and Saturday 28 November 2015

① 10:00–12:00 ② 14:00–16:00 each day

Total participants: 174

### 4) School Programs

#### ■ School Gallery Talk

This reservation-only program involved group tours of the Permanent Collection Galleries, led primarily by volunteer staff members.

Participants:

Under age of 6: 118 (2 groups)

Primary School (ages 7 to 12): 1,765 (38 groups)

Junior High School (ages 13 to 15): 794 (25 groups)

Over the age of 16: 289 (15 groups)

Total participants: 2,966 (80 groups)

#### ■ School Slide Talk

This by-reservation-only program involved Education Department staff members presenting lectures explaining the works on display in the Permanent Collection Galleries or special exhibitions. These talks were aimed at large-scale audiences and held in the Lecture Hall.

Participants:

Under age of 6: 0 (0 group)

Primary School (aged 7 to 12): 347 (3 groups)

Junior High School (aged 13 to 15): 389 (3 groups)

Over age of 16: 492 (12 groups)

Total participants: 1,228 (18 groups)

#### ■ Museum Visits for Extracurricular Activity

These group visits involved middle school and high school students in coordination with their Integrated Courses at school. The Education Staff members guided these groups, and provided information regarding a curator’s job, art works, and the art museum itself.

Participants:

Junior High School (ages 13 to 15): 34 (7 groups)

Over age of 16: 9 (2 groups)

Total participants: 43 (9 groups)

#### ■ Art Card Set

The Education section loans Art Card Sets to schools for classroom use. Each set includes an instruction booklet and 65 cards with images of art works from the collections of the National Museums of Art.

Borrowers:

Elementary School: 9 (68 sets)

Junior High School: 1 (10 sets)

High School: 1 (3 sets)

Total borrowers: 11 (81 sets)

#### ■ Teachers' Programs

This program has been designed for elementary, middle school, and high school teachers and other educational staff members. The program includes a brief overview of the exhibition's contents, discussion of a few works on display and free entry to the exhibition during designated hours. All lectures at Lecture Hall, free of charge

[Guercino]

Saturday 3 April 2015, free entry 16:00–20:00, lecture 18:00–18:40

Shinsuke Watanabe (Curator, National Museum of Western Art, Tokyo)

Participants: 31 (20 with lecture)

[Bordeaux]

Friday 10 July 2015, free entry 9:30–17:00, lecture 11:00–11:40

Megumi Jingaoka (Curator, National Museum of Western Art, Tokyo)

Participants: 36 (20 with lecture)

[The Golden Legend]

Friday 14 November 2015, free entry 9:30–17:00, lecture 11:00–11:40

Takashi Iizuka (Associate Curator, National Museum of Western Art, Tokyo)

Participants: 34 (20 with lecture)

[Caravaggio]

Friday 25 March 2016, free entry 16:00–20:00, lecture 18:00–18:40

Yusuke Kawase (Associate Curator, National Museum of Western Art, Tokyo)

Participants: 72 (20 with lecture)

#### ■ Teachers' Seminars

With the aim of furthering connections between schools and the art museums, the NMWA and other museums jointly planned and held study group meetings for primary and middle school teachers' associations to encourage visual learning experiences.

Organizers: Tokyo Art and Handicraft Society, National Museum of Modern Art, Tokyo (MOMAT), Museum of Contemporary Art, Tokyo, Tokyo Metropolitan Art Museum and NMWA.

Cooperation between MOMAT and Nishi Kosuge Elementary School (NKES)

Friday 22 January 2016, 13:35–15:15 Art appreciation classes at NKES

Thursday 28 January 2016, 13:35–14:40 Art appreciation programs at MOMAT

Organizers: Tokyo Junior High School Art Education Society, National Museum of Modern Art, Tokyo (MOMAT), Museum of Contemporary Art, Tokyo, Tokyo Metropolitan Art Museum and NMWA.

Monday 27 July 2015, 9:00–17:00 Art appreciation programs at MOMAT

## 5) Volunteer Activities

The NMWA volunteer staff was divided into three groups and they provided support for various museum programs, and also implemented their own programs. The volunteer staff also participated in training sessions to gain the essential skills and knowledge needed to work at the NMWA.

#### ■ Activities

Group A: School Gallery Talks and Family Programs

Group B: Art Talks

Group C: Architectural Tours

All groups: Fun Day, Christmas Program and programs designed by the volunteers themselves.

#### ■ Training and Meetings

Sunday 12 April: Workshop "On gallery talks at the Solomon R. Guggenheim Museum"

Akiko Ichijo and Yoko Imai (Curators, National Museum of Modern Art), Yoko Terashima (Curator, National Museum of Western Art, Tokyo)

Friday 28 August: Lecture on museum collections, Hiroyo Hakamata (Curator, National Museum of Western Art, Tokyo)

Monday 8 February: Drawing workshop for group A

Saturday 5 March: Study tour of architecture in the Takanawa area for group C

Saturday 26 March: Lecture on new acquisitions, Hiroya Murakami (Deputy Director, National Museum of Western Art, Tokyo)

## 6) Internships

As part of its mission to develop human resources in areas related to Western art and also as a way to further garner and broaden understanding of the museum's activities, the museum invites the participation of interns at the graduate student level and higher. Under the direction of a staff member, these interns help with surveys of museum art works and assist with the planning of exhibition-related and educational programs, with each intern taking part in hands-on work in their own specific area of specialization.

[Education]

Interns: Mayumi Yamamoto, Yukako Kawaguchi, Marie Oshiro, Yukiko Kajinishi, Keisuke Nomura and Yoshiya Sato

Term: 13 May–31 October 2015

Supervisor: Yoko Terashima

Training Program: Assisted with education programs and assembling resource materials.

[Painting/Sculpture/Drawing]

Intern: Mika Mashiko

Term: 11 May–30 September 2015

Supervisor: Yusuke Kawase

Training Program: Assisted with research on works in the NMWA collection and with the Painting and Sculpture Section's duties.

Intern: Hitoshi Fukuoka

Term: 13 May–31 October 2015

Supervisor: Megumi Jingaoka

Training Program: Assisted with research on works in the NMWA collection and with the Painting and Sculpture Section's duties.

[Research Library]

Intern: Mina Hisamatsu

Term: 7 May–31 August 2015

Supervisor: Masako Kawaguchi

Training Program: Assisted with assembling NMWA resource materials and library services.

## 7) Cooperation with Other Institutions

#### ■ Tokyo Metropolitan Ueno High School Volunteer

Friday 7, Saturday 8 and Sunday 9 August 2015

Helped with the Fun with Collection summer program.

Students: 6, Teacher: 1

Saturday 12 and Sunday 13 December 2015  
Helped with the Christmas program.  
Students: 4, Teacher: 1

■ **Cooperation with the Graduate School of Humanities and Sociology, University of Tokyo**

Term: 1 April 2015–31 March 2016

This program sought to deepen the understanding of Cultural Materials Research specialists in the University of Tokyo program and carry out mutual exchange on research and education.

## 8) Publications

■ **Exhibition Brochures**

“Bordeaux, Port de la Lune”

“The Golden Legend”

“Caravaggio and His Time: Friends, Rivals and Enemies”

■ **Junior Passports**

Exhibition guide for primary school and junior high school students:

“Bordeaux, Port de la Lune”

“The Golden Legend”

“Caravaggio and His Time: Friends, Rivals and Enemies”

■ **Zephyros**

NMWA Newsletter, Nos. 63–66

(Yoko Terashima, Saki Yokoyama, Hisako Sugiura)

### Staff List

[Education]

Yoko Terashima, Saki Yokoyama, Shigehiro Maezono, Hisako Sugiura,  
Eiko Hiramatsu and Kazu Ishikawa (Guest Researchers)

[Volunteer Staff]

Takako Akatsuka, Tomoko Arai, Marie Ando, Sachiko Ishikawa, Kiiko Isoda, Tamami Inamori, Naoko Inoue, Takashi Ohori, Shihoko Okada, Masau Okada, Shigeru Ogawa, Maki Ozao, Tamaki Sakakibara, Hiroe Sato, Koichi Sawano, Shinichi Shiota, Eiko Shirota, Yuki Suzuki, Ichiko Suzumura, Ryoko Takano, Keiko Tagami, Takenori Taniguchi, Naoko Terashima, Yasuko Nagai, Sae Nakao, Yuko Nakayama, Keiko Nakano, Hiromi Nakamura, Michiko Nishida, Noriko Hashimoto, Tamaki Hatanaka, Akemi Hamada, Kaneko Hinotani, Megumi Hiraga, Keiko Fukura, Nobuo Bunya, Hisayo Bessho, Naoya Maeda, Michiko Miyoshi, Hiroe Moriyasu, Mitsue Yamamoto, Misako Yokohata, Shoko Wada